

ほほえん de 北播磨

2021 January

令和 3 年 1 月

第27号



北播磨総合医療センター
副院長 兼
外科、消化器外科、乳腺外科 総括部長
くろ だ だい すけ
黒 田 大 介

あいさつ

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のため、これまでとは全く異なる1年となりました。予定されていた東京オリンピックは延期となり、緊急事態宣言により、ステイホームが叫ばれ、自粛のため、移動の制限、患者さんの病院への受診控えがみられるようになりました。当院でも、開院以来、毎年、右肩上がりであった入院患者数、外来患者数が、はじめて減少へと転じました。

また、何よりも、当院では現職の病院長を失うという大変悲しく、残念なできごとがありました。横野院長は北播磨総合医療センター初代病院長としてすべての診療科、職種に目を配られ、7年間で当院を北播磨医療圏の最も重要な中核病院へと導かれました。さて、当院は今年、8年目のお正月を迎えたわけですが、あらためて当院の役割について確認し、向かうべき将来について考えてみたいと思います。

開院当初より、北播磨総合医療センターの役割は国の医療上の重点項目である4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）対策に加え、救急医療、小児医療、周産期医療の充実、強化とされ、各領域において院内の多職種が協力してこれを担ってきました。新規医療技術の進歩、高難度手術、先進医療技術の開発などにより、医療は高度化し、100年前に行っていた医療が、すでに古くなり、より安全で効果的な医療にとって変わるような出来事が各領域でおこっていますが、当院でも、これまで、がん手術に対するロボット支援手術の導入やメタロ（強度変調放射線治療）などの放射線治療、脳卒中についてはPSC（1次脳卒中センター）コア施設として圏域内の中心的な役割を担い、循環器領域ではTAVI（経カテーテル大動脈弁治療）、インペラ（IMPELLA）補助循環用ポンプカテーテルの導入など積極的に新規医療技術の導入を行い、地域医療のレベル向上に努めてきました。その結果、これまで大学病院等の都市部の病院でなければ受けることができなかった医療を地域の病院で享受できるようになり、患者さん、住民の方々にとつての利益となつていると思われまふ。

今後、国の方針としては、地域医療構想から、病院の機能分担、集約化がますます進むことが考えられます。ま

た、医師の働き方改革により、2024年4月からは時間外労働の上限規制が適用される予定ですが、現状では遵守が厳しく、北播磨圏域内における各病院の役割分担の見直し求められる可能性があり、これまで以上に当院が急性期医療、先端的医療の中心的な役割を担う必要があると思われまふ。

COVID-19の感染対策が続く中、今年は2月には電子カルテシステムの更新があります。システムに慣れるまで、皆さんにはご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、職員一同、十分な研修を行って準備をし、患者さんを第一義に考えた診療を心がけますので、今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

副院長あいさつ	1
ドクターのリレー講座	2
チーム・委員会の紹介	4
大きくな～れ	5
病院探検ツアー	6
お知らせ	8
外来診療日程表	10
編集後記 他	12



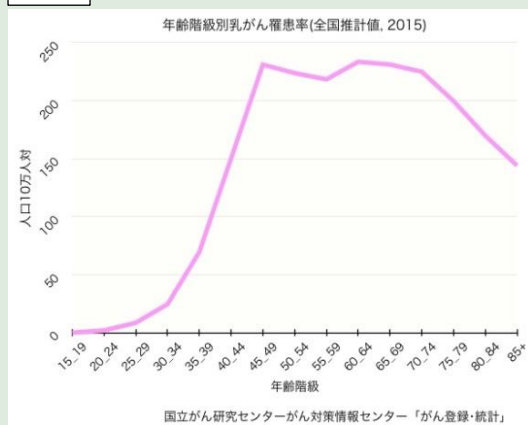
～ドクターのリレー講座～ 『乳腺外科の紹介』

「ブレスト・アウェアネス」

外科・乳腺外科部長 岡 成光



図 1



【乳がんについて】
女性であれば一度は乳がんについて考えたことがあるのではないのでしょうか。乳がんの原因として飲酒や喫煙や肥満などの生活習慣、妊娠・出産・授乳の経験、経口避妊薬やホルモン補充療法薬、遺伝的素因などが挙げられますが、多くの場合は単一の原因ではなくそれらが複雑に絡み合ったり、原因がはっきりしないまままで発症します。

国立がん研究センターが公表している2017年のデータによると、年間約91,000人、日本人女性のおよそ9人に1人が乳がん罹患するとされています。そして他のがんとは異なり、40代から80代まで幅広い年齢層で罹患患者数が多いのです。(図1)

図 2



【ブレスト・アウェアネスとは】
自分の乳房の状態に日頃から関心をもち、乳房を意識して生活することを「ブレスト・アウェアネス」といい、これを生活習慣とすることで、乳がんの早期発見・診断・治療につながりという考え方です。「ブレスト・アウェアネス」を身につけるために、以下の4つの項目を実践することが推奨されています。

①自分の乳房の状態を知るために、日頃から自分の乳房を、見て、触って、感じる乳房のセルフチェック(図2)

②気をつけなければいけない乳房の変化を知る(しこりや血性の乳頭分泌など)
③乳房の変化を自覚したら、すぐに医療機関へ行く
④40歳になったら定期的に乳がん検診を受診する

「ブレスト・アウェアネス」を心がけることで、自分の乳房に対する関心が高まり、変化があった場合には医療機関を受診するなどの適切な行動をとることが習慣づくようになります。また、乳房の変化を意識することで、乳がん検診を定期的に受ける動機づけになります。しかし、セルフチェックさえしていれば検診を受けなくてもよいというものではありません。

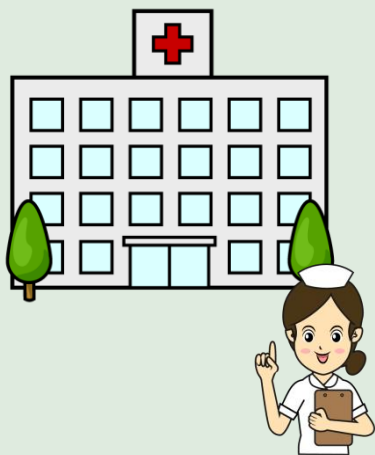
日頃から自分の乳房に関心をもち、40歳以降では定期的な検診を受けることが重要です。特に、乳がん検診で精密検査の必要がないと判定された場合でも、しこりや血性の乳頭分泌などの自覚症状がある場合は、放置せずにすぐに医療機関を受診することが重要です。

【乳がん検診について】

「自分ではしこりがわからない」「痛くもかゆくもない」「まさか自分が乳がんになるなんて」「たくさん出産・授乳したから大丈夫と思った」「家族に乳がんがないから」などと実際の乳がん患者さんがおっしゃるのをよく耳にします。



自分では気づけないことも多いです。妊娠・出産回数が多くても罹患します。痛くもかゆくもありません。乳がんには罹患しない方法もありません。それでも9人に1人が乳がんになるのです。自分だけは大丈夫と思わず、乳がん検診を受けてください。



【対策型検診と任意型検診】

対策型検診とは、市区町村が行う住民検診(町ぐるみ検診)が該当します。費用は税金から補助されているため自己負担額が低く、死亡率低減効果の証明されているマンモグラフィを主体としており、受診できる頻度も自治体によって異なります。

任意型検診とは、人間ドックや検診施設に自分で申し込んだり、職場検診などが該当します。費用は自分が負担することになる代わりに、乳房超音波検査がオプションとして追加できたり、希望に応じて受診頻度も短くできます。職場検診では健康保険組合が費用を助成してくれる場合があります。(表1)

町ぐるみ検診はもちろん有益ですが、マンモグラフィだけではわからない病変が超音波では指摘できることがあります。町ぐるみ検診で費用を抑えた乳がん検診を受けていただき、合間に超音波検査も含めた乳がん検診も受けるのがおすすめです。

またその逆もあります。超音波検査でわからない病変がマンモグラフィで指摘できることも少なくないのです。マンモグラフィで乳房をはさ

まれることを嫌がる方は、人間ドックや職場検診で超音波検診だけを知りかえされていることもあります。ときどきはマンモグラフィ検診も受けていただきたいと思います。

特に自覚症状のない方の乳がん検診は、当院では一般外来ではなく健康管理中心ターで実施しています。お気軽にお問い合わせください。

表 1

	対策型乳がん検診 (住民検診)	任意型乳がん検診 (人間ドック、職域検診など)
目的	国民全体の乳がん死亡リスクを下げる	個人の乳がん死亡リスクを下げる
概要	公共的な医療サービス	医療機関や職場などが任意で提供する医療サービス
検診対象者	定められた年齢の住民で基本的には40歳以上の女性	乳がん検診を希望する女性で基本的に年齢は問わない
検診費用	税金 (一部自己負担の場合もある)	全額自己負担 (職域検診では職場が一部負担)
利益と不利益のバランス	国民全体にとっての利益が不利益を上回ることによって判断する	個人のレベルで判断する

【乳房の診察について】

乳房の変化を自覚したら医療機関を受診しましょう。当院では、外科外来で乳房の初診を受け付けています。乳房にしこりや痛みや張りなどの症状を訴えてこられる患者さんでも異常がなかったり、良性病変であったりすることも多く、まずは検査を行います。マンモグラフィや乳房超音波検査の読影はすべて乳腺専門医が行いますのでご安心ください。精密検査が必要な場合には乳腺専門医による乳腺外来へ引き継ぎます。

乳腺外来は完全予約制です。乳腺外来への直接の初診をご希望の場合、予約をとって後日受診していただくか、かかりつけ医から乳腺外来へ御紹介いただく必要があります。

【おわりに】

今回は「プレスト・アウェアネス」についてお話ししました。乳がんを他人事と思わず、いつも自分の乳房に意識を向けるよう心がけましょう。



～チーム・委員会紹介～

「地域医療連携委員会」の活動内容を紹介します！

委員会

地域医療連携委員会は、地域の医療機関と連携を深め、地域で完結する医療を提供するために設置されました。

地域の病院及び診療所ならびに介護保険施設との医療連携システムを構築し、地域医療機関との連絡及び調整、情報交換を行うとともに、講演会及び症例検討会等の開催し、地域医療の活性化に努めています。



取り組み

- ①紹介率・逆紹介率、在宅復帰率、北はりま絆ネットの利用数などの統計や、地域医療連携室の活動状況を報告し、地域支援病院としての要件や地域完結型医療における急性期病院としての活動について確認し、課題を検討しています。
- ②北播磨圏域における病院や高齢者施設等の関連機関との会議報告や地域連携パスの事務局としての活動を報告し、課題を協議しています。
- ③医療・保健・福祉関連施設との連携状況や訪問・報告を行い、情報提供・共有しています。
- ④地域医療連携室便りや地域医療連携ガイドブック、診療のご案内の発行により、当院のPR活動をしています。
- ⑤近隣開業医紹介用パンフレット作成・更新に加え、公開講座・出前講座を活用し、かかりつけ医制度を推進しています。
- ⑥患者相談窓口の活動状況や入院時支援の介入状況の報告、課題検討を行っています。

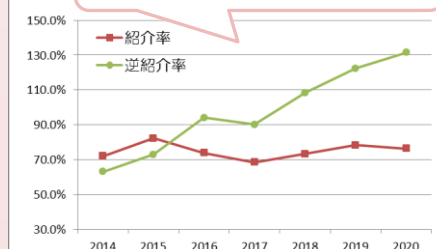
委員構成

委員会のメンバーは、委員長1名、副委員長3名、診療部8名、看護部1名、診療支援部4名、管理部5名、事務局3名（地域医療連携室）、オブザーバー1名と26名の多職種で構成されています。



▲医療機関向け発行紙

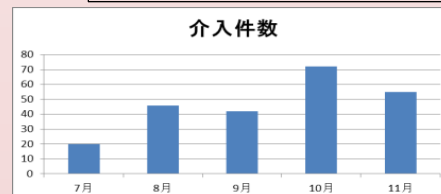
地域支援病院の基準は
紹介率 65%、逆紹介率 40%



▲紹介率・逆紹介率



▲令和2年度相談窓口の実績



▲令和2年度入院時支援介入状況



▲連携医療機関面会・訪問件数

★★★ 大きくな～れ ★★★



4階東病棟



11月吉日、前田弥幸さんのご家族にとって待望の女の子が誕生しました。

前田さんにとっては初めての帝王切開での出産でした。

出産後、前田さん本人にお話を伺うと「初めての出産でしたがあまり緊張とかはなかったですね。私も看護師なので手術の時実況してもらいたかったくらいです。赤ちゃんの生まれたときの泣き声を聞いたときはとても嬉しかったです。」と出産後の思いを話してくださいました。

産後は、できるだけ赤ちゃんと一緒に過ごされ、授乳や育児技術もはりきって積極的に取り組まれていました。

「うめかちゃん」と命名され、温かいまなざしで「うめちゃん。」とたくさん声をなげかける前田さんの姿からはひしひしと赤ちゃんへの愛情が感じられました。



これからの楽しみについて話を伺うと、「私も主人も外に色々出かけたりするのが好きな方なんです。今はコロナでなかなか思うように外も出られませんが、落ち着いたら色々なところに一緒に出かけたいですね。」と話してくださいました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、立ち会い出産や面会も出来ない中での出産は、不安もたくさんあったことと思います。これからママ・パパとの新しい生活がスタートします。たくさんの愛情を受け「大きくな～れ」とスタッフ一同、赤ちゃんが健やかに成長されることを心から願っています。

4階東病棟 スタッフ一同



★病院探検ツアー

【健康管理センターを紹介します】

～ 人間ドックの日帰り基本コース ～



北播磨総合医療センターでは、健康管理センターを院内に設置して、生活習慣病やがんの早期発見に重点をおいた人間ドックや町ぐるみ検診などを行っています。

当センターでは最新の医療機器と技術を駆使して得られた検査結果を、各科の専門医が一丸となって診断し、ドック担当医が受診者に丁寧な説明を行います。

今日は人間ドックの日帰り基本コースをご紹介します。

- 1** 8:00 健康管理センターの受付スタート
各種書類の確認を行います。検便も窓口に提出してください。



検査着に更衣後、まずは検尿をお願いします。

- 2** 順次、看護師が問診を行います。
過去にかかった病気、現在治療中の病気、本日の体調など丁寧に聞き取ります。



- 3** 腹囲、身長、体重、血圧等を測定し採血を行います。
採血内容は、腫瘍マーカーや血中ピロリ菌などオプションの内容によって異なります。



採血しますね。

- 4** 胸部レントゲンを撮影、生理検査室では、
安静時心電図、聴力検査、腹部エコーなどの検査を行います。

- 5** 続いて内視鏡室で胃カメラ検査です。
ご希望により鎮静薬を使用します。

無事に終了して帰ってこられました。

鎮静薬が覚めるまで
リクライニングベッドで
休んでください。



薬が効いて苦しく
なかったですよ。

大丈夫ですか？



6

眼科診察へ

視力、眼底、眼科検査と眼科医の診察

7

その他、オプションでMRI/MRA 検査や胸部CT検査、子宮がん、乳がん健診のオプションの方は状況を見ながら午後からも検査が続きます

8

医師の診察

採血結果や様々な検査の結果について医師から説明があります。



ドキドキ

日帰り基本コースは 44000 円ですが、ご加入の健康保険によっては人間ドック利用助成制度を設けているところもあり、お手頃な料金で受診が可能となりますので、健康管理や健康増進のために、ぜひご利用していただければと思います。

(参考) 日帰りの助成金

国民健康保険	
三木市	24,000 円
小野市	28,000 円

※諸条件あり

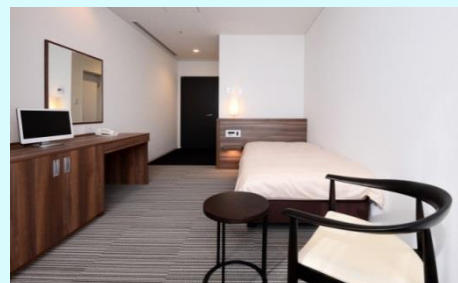
北播磨総合医療センター以外の施設は上記の半額となります

人間ドックや健康診断を受けるだけで安心していませんか。

結果票が約 1 ヶ月程度でお手元に届きますが、内容によっては再検査や精密検査が必要で治療をしなければならないケースもあります。毎年人間ドックを受けているけれど、D 判定や E 判定でも自己判断で経過を見ているという人もおられます。結果票の判定やコメントもしっかりと確認していただき、適切な診療科に受診していただきますようお願いいたします。

日帰り基本コース以外のコースのご案内

- ・日帰りすい臓コース；日帰り基本コースに膵臓の精密検査として EUS（超音波内視鏡検査）、MRCP（MRI を用いたすい臓・すい管の検査）などを加えたコースです。
 - ・1 泊 2 日生活習慣病コース；特に糖尿病、心臓病についての精密検査（糖付加試験、心エコー）が受けられるコースです。
 - ・1 泊 2 日大腸カメラコース；大腸カメラ検査が入ったコースです。
 - ・PET-CT がん検診コース；PET-CT や腫瘍マーカーなど、がんの早期発見に特化した 2 日間のコースです。
- 他にもオプション検査として、MRI・MRA、胸部 CT、骨密度測定検査、各種腫瘍マーカーなどを行っています。



人間ドック運営委員会の様子



毎月の調整会の様子



当院では人間ドック運営委員会を 2 回/年開催し、人間ドック等の運用上の課題等を検討しています。

スタッフ一同、安心して快適に健診を受けていただけるよう尽力いたします。

かかりつけ医について

かかりつけ医とは

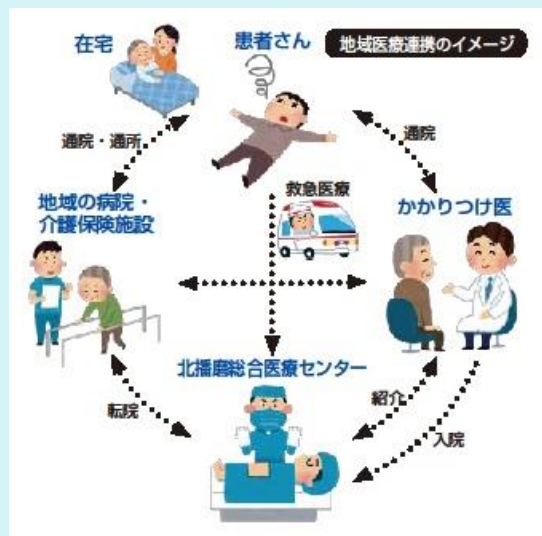
日ごろからの健康相談や病気の初期治療、慢性疾患の治療、緊急時すぐに相談できる地域の診療所やクリニックなどの身近な医師のことを「かかりつけ医」※と呼んでいます。必要であると判断した場合には、適切な病院の診療科を紹介します。

※契約書や届出の書類も不要です。また1人に限定する必要はなく、診療科や医療機関を問いません。

これからの地域医療連携と「かかりつけ医」の役割

一昔前は、ひとつの病院で治療を終えるという「病院完結型医療」が中心でしたが、最近では、日々の病気やけがの治療は近くの医療機関（かかりつけ医）で行ってもらい、高度な検査や専門外来、入院治療、救急医療は、地域の中核病院（北播磨総合医療センター）が担い、お互いの医療機関が専門とする部分を連携し、最適な医療サービスを提供する「地域完結型医療」に移行しつつあります。

このように、ひとつの病院で初診から治療までを担うのではなく、地域の医療機関が連携を図り、それぞれの医療機能を活かして、地域全体でよりよい医療を提供していくため、患者さんを紹介し合う仕組みが「地域医療連携」です。



「かかりつけ医」からの紹介状があると

- ・初診でもFAXで診療予約ができ、受付や診療の待ち時間が短くなります。
- ・診察する前から、患者さんの病気の様子や経過がわかり、検査や治療がスムーズになります。
- ・「かかりつけ医」で行った検査結果などがわかり、検査の省略ができます。
- ・現在投与されている薬やアレルギーなどの重要な情報がわかり、安心安全な医療につながります。
- ・初診時選定療養費（医科 5,500 円税込、歯科 3,300 円税込）の負担がありません。（R2.12 現在）（FAX予約は患者さんからはできません。「かかりつけ医」にお願いしてください。）

ぜひ「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。



キンボシ株式会社「みなと地域医療応援私募債『感謝』」寄贈

10月2日（金）キンボシ株式会社より株式会社みなと銀行「みなと地域医療応援私募債『感謝』」を通じて寄贈いただきました。

病院事業の進展に大きく貢献されましたことを深く感謝申し上げます。



2021 年度（令和 3 年度）の人間ドック予約受付方法について

人間ドック予約受付につきましては例年 1 月の始業日より開始していましたが、しかしながら、例年通りの方法では窓口、電話回線ともに混雑してしまいご迷惑をおかけしてました。また新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本年度の予約受付方法を以下のように変更いたします。誠に申し訳ございませんが、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

従来の方法

1 月始業日より電話と窓口で予約受付をしていました。



2021 年度（令和 3 年度）の受付方法

受付開始日：2021 年 1 月 12 日（火）～

受付時間：平日の午後 0 時～午後 4 時まで

受付方法：電話（受付専用ダイヤル）による受付のみ

受付専用ダイヤル（代表番号では受付できません）

0794-88-8872



※尚、令和 3 年 2 月 1 日（月）に当院の電子カルテシステムを変更いたします。

変更時の混乱等を考え、

**令和 3 年 1 月 28 日（木）から令和 3 年 2 月 5 日（金）までの期間の
予約受付を一時停止いたします。**

令和 3 年 2 月 8 日（月）より予約受付を再開いたしますのでご了承ください。



診断書等の文書料改定のお知らせ

令和 3 年 1 月 4 日受付分より診断書等の料金が次の表のとおり一部変更となっています。

ご負担をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。※1 通あたりの金額となります

項目	種別	金額（税込）	変更後金額（税込）
診断書	自動車損害賠償補償法診断書	4,400 円	5,500 円
	身体障害者診断書	3,300 円	4,400 円
	生命保険診断書	3,300 円	5,500 円
証明書	自動車損害賠償補償法明細書	4,400 円	5,500 円

外来診療日程表 【令和3年1月1日現在】

外来受付時間は、初診：午前8時30分～11時30分、
再診：午前8時～11時30分。診察開始時間は午前9時からです。
午後は予約のみの診察となります。 TEL: 0794-88-8800 (代表)

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合内科、老年内科	午前	山田	渡邊	原	担当医	担当医	予約のみ(初診紹介予約)
		西山	村上	渡邊	安友	岩橋	
		緩和ケア外来 (山名)		緩和ケア外来 (山名)			
循環器内科	午前	高見	栗野	山田	山田	吉田	再診(予約のみ)
		田頭	津田			高田	
			秋田				
		不整脈センター 外来(吉田)		津田	栗野	高見	
				寺下	田頭		
	午後				浪花	ペースメーカー外来	予約のみ
消化器内科	午前	大瀬	田中	佐貴	家本	吉江	再診(予約のみ)
			森川				
		森川	佐貴	田中	吉江	大瀬	
		阿部哲	三木	井上	佐々木	家本	
呼吸器内科	午前		松本	立原	佐藤	河野	予約のみ
			河野				
			高月		松本	高月	
						金城	
	午後			金城	寺下	金城	予約のみ
腎臓内科 完全予約制	午前	清水	白井	小坂	腹膜透析外来	藤本(第1・3・5週)	予約のみ
		安積(第1・3・5週)				西(第2週)	
		佐藤(第2・4週)				藤井(第4週)	
	午後				腹膜透析外来		予約のみ
糖尿病・内分泌内科	午前	安友	安友	西山	西山	担当医	初診の方の診察は総合内科・老年内科にて対応いたします。受付にてご確認ください。
		原	山田	小川	勝二	高吉	
		浦井	向田				
	午後				小川		予約のみ
脳神経内科 完全予約制 (初診紹介予約)	午前	担当医 (初診のみ)	濱口 (初診のみ)	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	濱口 (再診のみ)	予約のみ(初診紹介予約)
				高田	下村	古東	
					武田 (再診のみ)	武田	
	午後	小田	細見	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	古東	予約のみ(初診紹介予約)
		下村 (再診のみ)		高田	下村	武田	
				古東 (再診のみ)		山口 (再診のみ)	
血液・腫瘍内科	午前	杉本	大幡	今村 (腫瘍)	竹中	後藤	予約のみ
				後藤	大幡		
	午後	竹中	大幡	今村	杉本	杉本	
					平川		
リウマチ・膠原病内科	午前	土橋	三崎	井上	矢部	三崎	予約のみ
		関節エコー外来				担当医	
	午後	土橋	三崎	井上	矢部	土橋	予約のみ
外科、消化器外科	午前	御井	柿木	黒田	村田	黒田	再診のみ
		上田	荒井	横尾	佐伯	中村	
乳腺外科 完全予約制	午前		岡		岡		予約のみ
ストーマ外来 完全予約制	午前	森田	森田	森田 (初診)	森田	森田 (初診)	予約のみ (担当:皮膚排泄ケア認定看護師)
	午後	ストーマケア相談 (第1週)					電話相談のみ(13:00～16:00)
整形外科 完全予約制 (初診紹介予約)	午前	今泉	瀧川	新倉	高畑	立花	予約のみ(初診紹介予約)
		瀧川	新倉	今泉		高畑	再診(予約のみ)
		手術処置		手術処置	手術処置	手術処置	予約のみ
	午後			スポーツ外来 (新倉)			予約のみ
				スポーツ外来 (今泉)		脊椎外来 (高畑)	
呼吸器外科 完全予約制	午前		高田 (再診のみ)	田中	高田		予約のみ
心臓血管外科	午前	麻田 (予約のみ)	顔	麻田		顔	予約のみ
		麻田	顔	山田		顔	
	午後					森本	

ペインクリニック内科 完全予約制	午前			佐藤			予約のみ
産婦人科	午前	西井	西井	西井	担当医 (受付10時まで)	担当医	
脳神経外科	午前	山本	三宅		三宅	坂田	予約のみ
		庄瀬	坂田		山本	藤田	
	午後	山本	三宅		三宅	坂田	予約のみ
		庄瀬	坂田		山本		
形成外科 完全予約制	午前	藤井	藤井	藤井	藤井 (第4週)		予約のみ
		林	林 (再診のみ)	林	林		
		山城 (再診のみ)	山城	山城	山城		
	午後	手術 学童外来(16時～) レーザー外来 学童外来(16時～)	レーザー外来	創傷外来	手術		第1～4水曜日はくつ外来併設 (予約のみ)
		学童外来(16時～)	手術	創傷外来			予約のみ
		学童外来 (16時～)	レーザー外来	創傷外来			
小児科	午前	川崎	竹中	川崎	竹中	松野下	予約のみ
		山本	田中	松野下	神戸大学	徳田	
				心身外来 (山辺)			
	午後	アレルギーⅠ (竹中)	循環器外来 (こども/徳田) (第2週)	アレルギーⅡ (松野下)	小児外科 (加古川/川崎) (第2・4週)	腎外来 (松野下)	予約のみ
		内分泌(山本) (第1・3週)	心エコー(徳田) (第1・3・4・5週)	内分泌 (山本)	神経 (田中)	発達行動 (竹中)	
		神経(田中) (第2・4週)	血液(川崎) (第1・3週)	心身外来 (山辺)	アレルギーⅢ (徳田)	乳児健診 (山本)	
		予防接種 (徳田)	発達初診(竹中) (第2・4週)				
眼科	午前	厚見	松本	福田	厚見	厚見	金曜日は予約のみ
		担当医	硝子体注射 (予約のみ)	硝子体注射 (予約のみ)		福田	
						松本	再診のみ
			福田	松本	神戸大学		
	午後		黄斑外来(楠原) (第3週)	角膜外来(長井) (第4週)		斜視・弱視外来 (第1・3週)	予約のみ
			検査・レーザー	検査・レーザー		コンタクト外来 (第2・4週)	
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科 完全予約制 (受付は11時まで)	午前	清水		山本	清水		予約のみ
		山本		上田	上田		再診(予約のみ)
		上田		清水	山本		
	午後	上田		清水			再診(予約のみ)
		山本		処置外来	処置外来		
		免疫アレルギー 外来			免疫アレルギー 外来		
皮膚科	午前	岡	熊野	岡	岡	神戸大学	
泌尿器科 完全予約制	午前	武市	田中		宮崎		予約のみ
			宮崎		武市		再診(予約のみ)
	午後	武市	田中		宮崎		予約のみ
			藤澤		武市		
放射線診断科	午前		富田 (予約のみ)	足立	宮本 (予約のみ)		
放射線治療科	午前	西川 (再診のみ)	西川	西川	西川 (再診のみ)	西川 (再診のみ)	予約のみ
		関井	関井 (再診のみ)	関井 (再診のみ)	関井	関井	
歯科口腔外科	午前	棚倉	南川	南川	南川	棚倉	初診のみ
		瓜生	棚倉	棚倉	棚倉	瓜生	再診のみ
		南川	瓜生	瓜生	瓜生	南川	
	午後	小手術外来	小手術外来		小手術外来	小手術外来	予約のみ
		レーザー外来	腫瘍・術後外来		神戸大学		
		口腔ケア外来	口腔ケア外来	口腔ケア外来	口腔ケア外来	口腔ケア外来	
精神神経科 もの忘れ外来 完全予約制	午前	もの忘れ外来 (田中)	田中			もの忘れ外来 (田中)	予約のみ(金曜日は初診のみ)
			もの忘れ外来 (見市)				予約のみ
	午後	田中	田中				予約のみ
			もの忘れ外来 (見市)				
認定看護師相談外来 完全予約制	※	がん看護相談外来 川邊				慢性病看護外来 高橋(第2・4週)	予約のみ ※9:00～16:00
		感染対策相談外来 高橋					

新しい先生を紹介します



い せき まさ ひこ
井 関 将 彦 医師

(1月1日付着任)

麻酔科 専攻医 として 着任されました

〈卒業年次〉 平成28年

【退任のお知らせ】

～ お 世 話 に な り ま し た ～

12月31日付で、麻酔科 専攻医 岡本 修佑 医師が退任しました。

12月31日付で、腎臓内科 医員 小坂 恭子 医師が退任しました。



非接触温度センサーシステムを導入しました



当院の正面玄関では現在、病院へご来院の皆さまに検温及び問診を実施しております。

玄関前設置の非接触温度センサーシステムにて検温をお願いします。

体温が37.3℃以下の方は、センサーが緑色に点灯します。そのまま問診へお進みください。

体温が37.3℃以上の方は、センサーが赤色に点灯します。その場合は、職員の指示に従ってください。

【編集後記】

新型コロナウイルス感染症により、いつもとは違う年の始まりとなりました。黒田副院長の挨拶にもありましたが、昨年は今までとは全く異なった生活様式となり、病院の中でもいつも以上に感染対策を行うようになりました。1月に入り第3波を迎え、不要不急の外出は控え、より一層ご家庭での感染対策にも努めて頂ければと思います。

私個人的には外出自粛により間食と体重が増え続け、健康管理にも努める必要を感じているところです。紙面で紹介致しましたが、当院では人間ドックやがん検診を始めとした様々な検診を実施しておりますので、皆さまの健康管理にもぜひお役立て下さい。今年も皆さまに広く目を通して頂けるよう、親しみやすく分かりやすい紙面作りを目指し広報委員一同努力して参ります。

最後に、皆さまのご健康とご多幸をお祈りし編集後記の結びとさせていただきます。

リハビリテーション室

技師 二杉 美穂

